

ほんべつ



いいひと いいまち いきいき ほんべつ

本別町内全域に光ケーブルを設置します

2 光でつながる

6 本別町文化協会創立50周年

8 第52回本別山溪つづじ祭り

10 個性あるふるさと寄付金の運用状況をお知らせします
国民年金コーナー

12 あなたのペット(家族)幸せですか

14 狂犬病予防注射と犬の登録日程表

16 交通事故死ゼロ1000日達成
姉妹都市オーストラリア・ミッチェル訪問団が来町

18 第六次本別町総合計画 **Part13**

ハロー本別高等学校……………19
マイタウン……………20
みんなの健康・銀河ホットライン……………22
ご寄付ありがとうございます……………23
本のある暮らし・わたしたちのまち……………24



姉妹都市オーストラリア・ミッチェル訪問団が来町

約3年ぶりとなる訪問団(12人)が、5月7日から12日までの6日間、ホームステイをしながら本別町で過ごしました

光でつながる



本別町内全域に光ケーブルを設置します

光でつながる



サービス開始は来春を予定

本別町内どこに住んでいても、大容量の情報を入手し活用したい。そんな思いを実現させるため、本別町では本年度、高速通信網整備のために光ケーブルを町内全域に架線します。

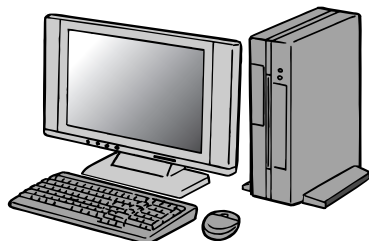
暮らしの中の一部
となったパソコン

一般家庭用のパーソナルコンピュータが普及してきたのが一九八〇年代。それから三〇年が過ぎ、一般家庭でのパソコン普及率は七四％（内閣府「消費動向調査」一〇年三月末より）を超え、家庭に無くてはならない家電機器となっています。

インターネットも
主流に

パソコンの普及や携帯電話、ゲーム機など、インターネットに接続できる環境が増え、インターネットの人口普及率が七五％（総務省「通信利用動向調査」〇八年より）を超え、今後も増加していくことが予想されます。何らかの形で必ずインターネット

トにお世話になるという生活がすぐそこまで来ています。



広がる情報格差

インターネットの普及が進み、どんな情報もインターネット接続端末が一つあればどこでも手に入る時代になりました。情報発信者もより多くの情報を伝えようと、様々なコンテンツを活用し利用者に情報を提供しています。

しかし、莫大な情報を提供するために、そこに流れるデータも大きくなり、ブロードバンド環境が整っていない地域での情報入手も困難になってきている

のも現実です。ブロードバンドサービスは主に民間の通信事業者によって整備され、提供されています。しかし、人口の密集していない散在地域などでは、莫大な施設整備費用に対し採算の関係で、民間での整備が期待できず、情報の格差が生まれてくること懸念されています。

情報格差解消のために
国の地域情報通信基盤
整備促進交付金を活用

町では、居住する場所によりこのような情報格差を解消するために、国の交付金を活用し、町内全域に光ケーブルを張り巡らせ、本別町のどこに住んでいても必要な情報をブロードバンドを活用し入手できるように、高速通信網を整備します。

これにより、情報の入手はもとより、大容量での情報発信も可能となります。個人での活用のみならず、事業等がされている皆さんも製品紹介など、全国に向けての情報発信のコンテンツとして、ぜひご活用ください。

ブロードバンドとは…？

高速な通信回線のコンピュータネットワークと、その上で提供される大容量のデータを活用したサービス。



※現在、NTT東日本により光サービスが提供されている、本別市街地北地区を除く



サービス提供は
OCTVで

今回、町が主体となり光ケーブル網を整備しますが、通信事業者ではない本別町では、ブロードバンドサービスを提供することができません。
そこで、ブロードバンドサービスを帯広シティーケーブル(OCTV)に町の光ケーブルを貸し出しブロードバンドサービスを提供してもらいます。
サービスも最大100Mbpsの通信速度から5Mbpsまで利用する人のニーズにあわせてサービス内容を揃え、だれもが安心して利用できるサービス展開をしています。

OCTVってどんな会社？

帯広市に本社を置く、十勝毎日新聞社グループのケーブルテレビ会社。民間ケーブルテレビ会社初の光ファイバー事業を展開するなどの先進的な取り組みを行いながら、独自で地域情報番組を制作するなど、地域密着をモットーとしています。

利用料金のご案内

インターネットやテレビのサービスを受けるためには、OCTVと契約し、サービスを提供していただくことになります。
利用するための料金については、次の通りとなっていますが、まだまだたくさんのサービスがありますので、詳しくはOCTVにお問い合わせください。

インターネットサービス

サービス内容	月額利用料	内 容	
ひかりネットハイパー	5,775円	下り：100Mbps	上り：2Mbps
ひかりネットミディアム ※2010年度中 開始予定	4,725円	下り：20Mbps	上り：1Mbps
ひかりネットライト	3,675円	下り：5Mbps	上り：512Kbps

テレビサービス

サービス内容	月額利用料	内 容
ひかりテレビ	4,200円	ベーシックチャンネル55ch・地上デジタル放送(TVh含む)・BS放送・OCTVチャンネル
ひかりテレビバリュー	3,885円	ベーシックチャンネル50ch・地上デジタル放送(TVh含む)・BS放送・OCTVチャンネル
地上デジタル放送	2,100円	地上デジタル放送(TVh含む)・BS放送・OCTVチャンネル
地上デジタル放送 (難視聴地域用)	300円	地上デジタル放送(TVh含む)・BS放送・OCTVチャンネル

その他にもオプションなどのサービスがあります。また、まとめて加入するとセット割引なども受けられます

OCTV 帯広シティーケーブル フリーダイヤル **0120-16-6511** 受付時間 午前9時から午後7時 (土・日・祝日は午後5時まで)

OCTVだからできる
地デジ対策

平成二三年七月に、現在ご覧になっている、地上アナログ放送が終了し、すべてのテレビ放送が地上デジタル放送に移行します。

この移行に伴い、一部の地域において電波の受信が悪くなり、テレビが見られなくなる世帯が予想されています。
OCTVはもととケーブルテレビ会社。OCTVに、光ケーブルを使い地上デジタル放送を再送信してもらい、電波の届かない世帯に放送サービスを提供してもらいます。光ケーブルを使ったサービスなので、テレビの画質もそのまま各ご家庭に提供することが可能です。

もちろん、難視聴世帯だけではなく、一般のご家庭でも契約すればテレビサービスを受けることができます。
インターネットとテレビ、二丁にあわせてお楽しみください。

※帯広局、足寄局からの電波を受信している地域については難視聴地域の料金は適用になりません

もう一つの
地デジ対策

現在、地上デジタル放送につきましては、美里別高東に中継局を設置し市街地に電波の送信を行っています。

しかし、東町や向陽町など山陰になるところでは、電波の状況はよくありません。
そこで、東町のカムイ山南側に簡易中継局を整備し、これら地域に地上デジタル放送波の送信を行います。

本年中の開局を目指しております。いましばらくお待ちください。
美里別高東の中継局、東町の簡易中継局でカバーできない地域について、光ケーブルを活用しテレビ放送を提供します。



- ①昨年2月から地上デジタル放送の電波を市街地地域に送信している美里別高東の中継局
- ②本年中の開局に向けて整備を進めている東町の簡易中継局。主に、東町、向陽町のエリアをカバーします

※町で難視聴になると予想される地域については、各世帯に個別に訪問させていただきます。状況やご要望をお聞きします。六月から各世帯を訪問させていただきますので、よろしくお願ひします。

ブロードバンドを活用したい、地上デジタル放送が見られない、また、地域やサークルなどの集まりで今回の事業の説明を受けたいなどのご要望がありましたら企画振興課にご連絡ください。
企画振興課 ☎22-8121



本別町文化協会
泉野 健 会長



Profile

昭和8年2月27日 浦幌町生まれ(77歳)
昭和23年 本別町へ
昭和38年 雪光カメラクラブで文化協会加盟
昭和48年 文化協会理事
本別もちつき保存会十五夜会会長
(現在に至る)
昭和52年 文化協会事業部長
平成元年 文化協会副会長
平成3年 文化協会会長(現在に至る)

理事になってから、協会組織の立て直しに力をいれました。

「これまでごんな苦労がありましたか」

協会会員の横(人)のつながりを大切にしながら、先輩たちが築きあげてきたものを、さらに充実させ運営していかねばならないという思いでいっぱいです。

本別町文化協会が創立五十周年を迎えましたが

平成三年から本別町文化協会会長を務め、今年で会長就任十九年を迎える泉野健さんに、同協会創立五十周年を迎えた今の気持ちと、これからの展望などについてお聞きしました。

現状を維持しつつ、新しい文化をどう見つけ、若者の文化協会への参画をどうすすめるかが課題。また、加盟団体のよりよい発表の場を作り、各団体がより充実して発展するよう努力していきたいです。

文化協会の今後について
一言お願ひします

当時の事業は文化祭しかなかったため、年間を通した文化事業が展開できるよう、部制(総務・事業・広報)を敷き、組織の充実を図りました。その結果、全町民が参加できる文化祭開催に至りました。苦勞もありましたが、仲間が支えてくれたおかげでやってこれました。

昭和三十五年十一月三日文化の日、町内八つの文化団体で発足した本別町文化協会。それから半世紀という時が過ぎ、現在では、詩吟や美術、音楽、舞踊などの十一分野に、三十五団体四百五十五人が加盟する組織に成長しました。この間、平成二年十一月には、創立三十周年記念式典を実施し節目を祝ったほか、年間を通して文化祭をはじめとする幅広い事業を展開し、本町文化の振興と発展に寄与してきました。五十周年の記念すべき日をスタートとし、新たな文化の発掘と同協会のさらなる発展を願っています。

記念式典ならびに祝賀会

本別町文化協会(泉野健会長) 創立五十周年記念式典ならびに祝賀会が五月二十三日、中央公民館で開催されました。式典は物故した会員への黙とうが捧げられた後、泉野会長が「現在まで、本別の文化を支えていこうと活動を続けてきた。今後も横のつながりを大切にしながら文化の振興に努めたい」とあいさつ。続いて、同協会に貢献した九個人、七団体に感謝状が贈られました。高橋正夫町長、笠原求町議会議長らがお祝いの言葉を述べた後、受賞者を代表して朝日明さんが「協会を築き上げてきた先輩に感謝したい。今後ますます発展することを願っています」



祝賀会の様子

とお礼を述べました。式典終了後には、祝賀会が開かれ、出席した約百十人はお酒を酌み交わしながら、入会当時の思い出話に花を咲かせました。

第52回

本別山溪

つつじ祭り

第52回本別山溪つつじ祭り（実行委員会主催＝野田仁会長）が5月9日、義経の里本別公園で開催されました。

今年は、天候不順によりサクラの開花が間に合わず、つつじは4部咲き程度と例年に比べ少し淋しい感じは受けたものの、会場では多くの屋台や数々のステージショーなどで盛り上がりを見せ、町内外から訪れた約4,700人は、そんな春のイベントを楽しみながら満開の笑顔を咲かせていました。



- | | | | |
|---|---|---|---|
| ⑩ | ⑨ | ⑧ | ① |
| ⑬ | ⑫ | ⑪ | ③ |
| ⑮ | ⑭ | ② | ⑤ |
| | ⑬ | ④ | ⑦ |
| | ⑫ | ⑥ | |
| | ⑪ | | |
| | ⑩ | | |
| | ⑨ | | |
| | ⑧ | | |
| | ⑦ | | |
| | ⑥ | | |
| | ⑤ | | |
| | ④ | | |
| | ③ | | |
| | ② | | |
| | ① | | |

- ① 入場する花見客
- ② にじます放流
- ③ にじます釣りに挑戦
- ④ 600食完売のジャンボ義経鍋
- ⑤ 野田仁実行委員長のあいさつ
- ⑥ ブルーベリー苗木無料配布
- ⑦ 手ごわかった、うなぎのつかみどり
- ⑧ 子供に大人気ふわふわ遊具
- ⑨ 姉妹都市オーストラリア・ミッチェル特産品販売コーナー
- ⑩ 勇壮な義経太鼓
- ⑪ 野点
- ⑫ 童謡を歌う姉妹都市オーストラリア・ミッチェル訪問団
- ⑬ 力強い本別駒踊り
- ⑭ にぎわいを見せたステージ前
- ⑮ すぴっぴお笑いライブステージ
- ⑯ 会場をあとにする来場者

皆様からのご厚意 大切に使用させていただきます

本別町個性あるふるさとづくり寄付条例
平成二十一年度(平成二十一年四月～平成二十二年三月)
の運用状況をお知らせします

本別町個性あるふるさとづくり寄付条例は、個性や魅力にあふれ、全国に発信できる「ふるさとづくり」を進めるための事業等に活用するべく、平成十八年度から制度をスタートさせました。

制度の運用から四年、趣旨や目的をご理解いただき、絶大なご支援を賜りました個人・団体の皆様に対し心からお礼申し上げます。

平成二十二年三月三十一日現在、平成二十一年度に寄付を頂いた口数は九百六十六口、総額四百八十三万円で、これまでの累計としては、口数は五千四百二十八口、総額二千七百四十四万四千二百二十円となっております。

平成二十一年度の運用実績は、寄付金を活用した事業は実施しております。

平成二十二年度は、本年九月に「図書館子どもの本・本の町・夢づくりフェスティバル」として、国語教科書に掲載されている作品の作者から、物語の世界の背後に秘められている感覚や、味わい方を直接学び、児童の理解力や発想力を高める「ほんべつ学びの日・夢風事業」を開催します。

具体的には、落語家の三遊亭圓窓(さんゆうてい えんそう) 師匠を招き、「仮」落語授業は生きる力」と題し、講演会を開催いたします(※講演会の前段には、町内の児童生徒



三遊亭圓窓師匠の落語授業の様子

による「子ども落語ライブ」も予定)。また、小学四年生の国語教科書にも掲載されている同氏が創作した落語「ぞろぞろ」をテーマに、「話す・聞く・思い描く力を育む落語の授業」も開催することとしています。その他の事業についても、早期実現のための方策検討を重ね、より良いまちづくりのために有効に活用させていただきたいと考えておりますので、今後とも本町の「個性あるふるさとづくり」に多大なるご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

分野別寄付数

平成21年度分(平成21年4月～平成22年3月)

寄付項目(分野)	寄付口数	寄付金額(円)	項目比率(%)
福祉でまちづくり推進事業	239	1,195,000	24.7
農産物加工体験施設整備事業	145	725,000	15.0
自然との共存・環境保全推進事業	124	620,000	12.8
資料館展示「わが町の七月十五日展」開催事業	116	580,000	12.1
本のまち・夢プラン事業	342	1,710,000	35.4
合計	966	4,830,000	100.0

累計分(平成18年度～)

寄付項目(分野)	寄付口数	寄付金額(円)	項目比率(%)
福祉でまちづくり推進事業	1,706	8,530,420	31.4
農産物加工体験施設整備事業	1,343	6,715,000	24.8
自然との共存・環境保全推進事業	1,245	6,225,000	22.9
資料館展示「わが町の七月十五日展」開催事業	457	2,285,000	8.4
本のまち・夢プラン事業	677	3,385,000	12.5
合計	5,428	27,140,420	100.0

地域別寄付者数

平成21年度分(平成21年4月～平成22年3月)

寄付者のお住まい	寄付者数(件)		地域別比率(%)
	個人	うち団体	
本別町内	13	1	54.1
道内他市町村	7	2	29.2
道外他市町村	4	0	16.7
合計	24	3	100.0

累計分(平成18年度～)

寄付者のお住まい	寄付者数(件)		地域別比率(%)
	個人	うち団体	
本別町内	54	10	50.9
道内他市町村	22	2	20.8
道外他市町村	30	2	28.3
合計	106	14	100.0

国民年金 コトナリ

その98

第1号被保険者の 独自給付

第1号被保険者(農林漁業、自営業などの人とその配偶者、学生、家事手伝いなどの人)には次の3つの独自給付があります。

その一 付加年金

月額400円の付加保険料を納めて、老齢基礎年金に上乗せして受け取れます。

★年金額(月額)

付加保険料納付月数×200円

※2年間で元が取れます

その二 寡婦年金

第1号被保険者として保険料を納めた期間(免除期間なども含む)が25年以上ある夫が死亡した場合、死亡時に10年以上婚姻関係にあった妻が60歳から65歳になるまでの間支給されます。

★年金額

夫が受けられたであろう老齢基礎年金額の4分の3

その三 死亡一時金

第1号被保険者として保険料を3年以上納めた人が、年金を受けずに亡くなった場合、生計を同じくしていた遺族に支給されます。ただし、遺族が遺族基礎年金を受けられない場合に限りです。

★年金額

保険料納付期間に応じて

120000円～320000円

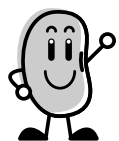
※寡婦年金と死亡一時金は、支給要件がありますので、詳しくは帯広年金事務所または住民課戸籍年金担当へお問い合わせください

帯広年金事務所では

こんなことを行っています

- 年金制度についてのご相談や質問の受け付け(受給や免除のご相談・加入記録の確認など)
- 保険料の納付
- 口座振替の申し込み手続き など

☎015516515003



詳しくは
住民課戸籍年金担当へ

015516515003



あなたのペット(家族)

幸せですが



私たちの身近な動物、犬や猫。近年は、少子高齢化や核家族化が進む中で、ペットに対し家族の一員として心のやすらぎや生きがいを求める傾向が強くなっています。一方、少数ではありますが、飼うときは、かわいいからと飼ったものの、手に負えなくなり捨ててしまったり、保健所に持ち込み処分を依頼する人が後を絶たないのも現実です。ペットは、飼い主を選べません。飼い主である私たちは、動物の大切な一生という命を大切に預かり守らなければなりません。飼うからには、責任をもって最後まで見届けることが必要です。

本別町の現状

大部分の人が、家族同様にペットを大切に飼われていることから、もともと飼い犬であった野犬の殺処分数も年々減少傾向にあります。保健所に持ち込まれた飼い犬の処分も過去三年間で四匹。飼い猫については、過去三年間で持ち込まれた数は二十三匹と多いものの、そのうち約半数は新しい飼い主に引き取られています。このように、新しい飼い主の元で幸せに暮らしているペット

本別町の犬の登録数

平成19年度	642匹
平成20年度	629匹
平成21年度	617匹
※登録は生後91日以上	

が、家族同様にペットを大切に飼われている一方で、残念ながら少ない頭数ではありますが、引き取り手がなく尊い命が絶たれている悲しい実態があります。これは、飼育する人間側の責任です。飼い主は、最後まで責任をもって飼うことはもちろんのこと、ラブルの元となるふんの始末や増やさないための避妊・去勢、予防接種をするなどの一定のルールを守った飼育を心掛けてください。



持ち込まれたり、捕獲した動物を、仕事としてやむなく処分しなければならぬ人間がいることも忘れないでください。

あまり知られていない 本別町の殺処分の現状

● 役場での処分状況

□ 野犬

平成19年度	平成20年度	平成21年度	合計
21	10	11	42

※役場での処分は野犬のみであり、通報によるものです

● 帯広保健所本別支所での処分状況

□ 飼い犬

	平成19年度～平成21年度
持ち込まれた数	4
処分された数	4

□ 飼い猫等

	平成19年度～平成21年度
持ち込まれた数	23 うち野良猫 20匹
処分された数	11
新しい飼い主に引き取られた数	12

※保健所での処分は飼い犬・猫のみで、病気やかむなどの理由で、飼い主から持ち込まれたものです



犬や猫がほしい人へ

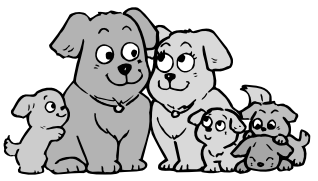
帯広保健所のホームページ (<http://www.tokachi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/hfc/maigonoinuneko.htm>) では、保護されている犬・猫の情報を掲載しています。ほしい人はぜひ連絡を。

問い合わせ先 十勝総合振興局保健環境部環境生活課
主査(動物管理)まで
☎0155-26-9031

平成
22年度

狂犬病予防注射と

犬の登録日程表



6月20日(日)									6月13日(日)									月日
時間									時間									場所
14時25分〜15時00分	14時05分〜14時20分	13時35分〜14時00分	13時10分〜13時25分	11時35分〜11時45分	10時50分〜11時20分	10時10分〜10時30分	9時35分〜10時00分	9時15分〜9時30分	14時30分〜15時00分	14時15分〜14時25分	13時40分〜14時10分	13時10分〜13時35分	11時10分〜11時35分	10時40分〜11時05分	10時15分〜10時30分	9時50分〜10時10分	9時15分〜9時40分	本別町役場前
清流公園	北公園	本別町ふれあい多目的アリーナ	錦町児童公園	役場仙美里出張所	光仙寺	新町公園	青田勝彦様宅	本別町役場前	東町中前建設様社宅	ふれあい交流館	みどり公園	本別森林事務所	鉦路トヨタ自動車本別営業所様	共栄会館	前田自動車工業様	勇足コミセン前	住所	
北2丁目	清流町	北8丁目	山手町	錦町	仙美里元町	栄町	新町	弥生町	北2丁目	東町	向陽町	緑町	南3丁目	南4丁目	共栄1	共栄1	勇足元町	

- ◎狂犬病予防注射は、毎年1回受けなければなりません
- ◎生後91日以上の犬は、登録・狂犬病予防注射を受けなければなりません
- ◎犬の登録は、平成7年4月から犬の生涯に1回の登録となりました
- ◎犬の死亡、所有者および所有者住所の変更などがあった場合は、住民課環境生活担当に届け出をしてください
- ◎注射手数料は**3,040円**です
新規で登録する場合は、登録手数料が別途**3,000円**がかかります
- ◎ご不明な点は、住民課環境生活担当(☎22-8128)または、農業共済組合(☎22-2075)にお問い合わせください
- ※本年度も、後日行われていました個別巡回による狂犬病予防注射の実施等はありませんので、今回の日程で実施されますようお願いいたします
- ※指定場所は特にありませんので、都合のよい時間・場所で必ず受けてください
- ※犬の体調が悪い場合には、事前に申し出てください
- ※他市町村や動物病院などで予防注射を実施した場合は、予防注射実施済票を交付しますので、予防注射実施済証を持参の上、必ず住民課環境生活担当までお越しください(交付手数料**550円**がかかります)

本別町・本別町獣医師会・十勝農業共済組合北部事業所本別家畜診療所

6月17日(木)									6月15日(火)									月日		
時間									時間									場所		
14時55分〜15時10分	14時30分〜14時40分	14時10分〜14時20分	13時55分〜14時05分	13時30分〜13時45分	10時55分〜11時20分	10時20分〜10時40分	10時05分〜10時15分	9時40分〜10時00分	15時10分〜15時20分	14時40分〜15時00分	14時10分〜14時30分	13時50分〜14時00分	13時20分〜13時30分	11時25分〜11時35分	11時05分〜11時15分	10時45分〜10時55分	10時15分〜10時25分	9時45分〜10時00分	9時20分〜9時40分	美里別東上会館
美里別東上会館	渋谷茂様宅	活込神社	上拓農会館	旧拓農公民館跡	美里別東中会館	農協美里別支所様	ラウンベ入口バス停	美里別中地区集会場	勇足西1会館	負籓2会館	負籓1会館	チエトイ1会館	大石純一様宅	仙美里2会館	星崎政博様宅	村上行男様宅	奥仙美里会館	井上産業様	上本別生活館	住所
美里別東上	活込	活込	上拓農	拓農	美里別東中	美里別西上	美里別西上	美里別西中	勇足西1	負籓2	負籓1	チエトイ1	東本別	仙美里2	上仙美里	美栄	奥仙美里	東仙美里	上本別	

6月18日(金)									6月16日(水)									月日						
時間									時間									場所						
14時45分〜15時00分	14時25分〜14時35分	13時55分〜14時15分	13時35分〜13時45分	11時30分〜11時40分	11時10分〜11時25分	10時40分〜11時00分	10時25分〜10時35分	10時05分〜10時20分	9時40分〜9時55分	9時20分〜9時30分	15時25分〜15時35分	14時55分〜15時10分	14時35分〜14時45分	14時20分〜14時30分	13時45分〜14時10分	13時35分〜13時40分	13時20分〜13時30分	11時25分〜11時40分	11時00分〜11時15分	10時40分〜10時50分	10時10分〜10時25分	9時50分〜10時05分	9時25分〜9時40分	森勢久保様宅
新台	月見台	明美	清里	美里別東下2	美里別高東	西仙美里	仙美里ヶ丘	追名牛	追名牛	美里別東下1	美蘭別	上押帯	押帯	押帯	押帯	勇足西4	勇足西2	美蘭別	勇足西5	勇足東5	勇足東4	勇足東1	住所	
新台	月見台	明美	清里	美里別東下2	美里別高東	西仙美里	仙美里ヶ丘	追名牛	追名牛	美里別東下1	美蘭別	上押帯	押帯	押帯	押帯	勇足西4	勇足西2	美蘭別	勇足西5	勇足東5	勇足東4	勇足東1		

Mitchell

3年ぶりに 姉妹都市オーストラリア ミッチェル訪問団が来町

姉妹都市オーストラリア・ミッチェルからの訪問団一行12人が5月7日から12日までの6日間、ホームステイやイベントを通して交流と絆を深めました。

到着した5月7日は中央公民館でウエルカムパーティーが開催され、本別町国際交流協会（棚原秀樹会長）やホストファミリーなどが一行を出迎えました。高橋正夫町長は「人と人が行き会うことで文化が生まれる。楽しい思い出が出来るように、交流を深めてください」と歓迎のあいさつ。訪問団のケビン・ムロニー代表は「文化の架け橋となるよう交流を深めたい。また、2009年の山火事災害のときに本別町から受けた多くの思いやりと親切は決して忘れません」とあいさつ。その後、記念品の贈呈やもちつきなどを体験し、楽しいひとときを過ごしました。

滞在中は、つつじ祭りにも参加し、ミッチェル特産品の販売や山火事被害からの復興コーナーの設置、ステージではオーストラリアの童謡を披露。出発前日には、町国保病院や中学校など町内を視察したほか、華道や茶道、着物の着付けなどの日本の伝統文化にも触れました。夜は、道の駅「ステラ★ほんべつ」で開催されたさよならパーティーに出席し、別れを惜しみながら再会を誓っていました。



もちつき体験



茶道に挑戦



つつじ祭りでのミッチェル特産品販売



ウエルカムパーティー

交通事故死ゼロ 1000日達成

小さな取り組みが大きな実を結ぶ

本別町が5月7日午前零時に、町内での交通事故死ゼロ1000日を達成しました。

この記録は、平成19年8月11日から続いているもので、今までの最長記録1047日に迫る2番目の記録。

この記録達成の陰には、町民みなさんの交通安全に対する意識の高さと、本別警察署をはじめとする各種団体などによる街頭啓発や交通安全教室などの様々な取り組みがありました。こういった小さな取り組みの積み重ねが、大きな実を結んだもので、今後も尊い命が失われない記録がいつまでも続くよう家庭や職場から交通安全を広げ、事故のない幸せな毎日を過ごしましょう。

1000日達成同日には、偉業達成をたたえ社団法人北海道交通安全推進委員会から町交通安全推進委員会（高橋正夫会長）に対し、表彰状と盾が贈られました。



社団法人北海道交通安全推進委員会から贈られた表彰状と盾

北海道から感謝状

道内でも交通事故死ゼロ

本別町が平成二十一年度一年間を通して、町内での交通事故死亡事故を防ぐとともに町民も道内の他地域で交通事故死亡事故を起こさなかった功績が認められ三月十日、十勝支庁（現十勝総合振興局）で北海道からの感謝状が手渡されました。この表彰は、平成二十年度に引き続き二年連続。過去十年間で五回の受賞となりました。



2010年 本別高校、元気はつらつ! 全校生徒218人は...



パフォーマンスする陸上部

四月九日
新入生との対面式



昨年大量入部した弓道部も、今年の活躍が期待される



部員が20人を越え活気づく野球部

新入生六十九人が入学。部活動の紹介などが、行われました。



真新しい制服の1年生



PTA総会

四月十八日
PTA総会と同時に「授業参観」が、設けられました。



授業参観



3月1日 卒業式

この春、77人が巣立ちました。卒業生の総数は11,444人となりました。今年の式では、在校生と卒業生の「合唱」を取り入れました。

校訓
創意実践

北海道本別高等学校
TEL: 0156-22-2052/2068
e-mail: honbetsu@hokkaido-c.ed.jp

各学校の手作りページ

HELLO

本別高等学校

今年もよろしく
お願いいたします

シリーズ 第六次本別町総合計画

総合計画策定に伴う懇談会を開催

本別町総合計画策定審議会（今野公司会長）による「総合計画策定に伴う懇談会（中間報告会）」が五月十四日町体育館で開催され、町内の十三団体から約四十人が参加しました。

今野会長が「昨年五月に町長から総合計画の策定について諮問を受け、一年かけ本別町の課題を把握し、今後のまちづくりの進め方を検討し、本日、中間報告として「新しい本別町のまちづくりの姿」の案をお示しします」とあいさつ。

引き続き、事務局からこれまでの取り組みと「新しい本別町のまちづくりの姿」について説明が行われた後、三グループに分かれて意見交換が実施されました。

同審議会は、今後この中間報告を基に十一月ころまで答申作業を進めます。



まちづくりを「木」に例えました

1. 町民一人ひとりの学びを生かしたマンパワーを「ほんべつ力」と位置づけ、「ひとづくり」「人材の育成」を木の「根」と例えました
2. 本町の地域資源を最大限活用し、あらゆる場での仕事づくりを進めることにより「産業・雇用」を拡大することを木の「幹」と例え、本町の産業振興を重点施策と位置づけました
3. 町民の皆さんの命と暮らし、生活を守るため、「安心」「安全」「健康」を木の「枝」と例え、本町が先進的に進めています「保健」「医療」「福祉」の一体的な整備のさらなる充実を図ります

グループ討議で出された様々な意見

- 福祉関連施設においては、職員を募集しても中々町内から応募が無いのが現状である
- 小さな子どもを預け働くことができるように、子育て支援の整備を強化していただきたい
- 適当な住宅が見つからない
- 以前は、農業・商業・工業それぞれ単独で営むことが出来た。これからは、「農」「商」「工」が連携していかなければならない
- 新しい事を始めるには、時間やエネルギーが必要である。失敗することも
- ある。チャレンジすること
- 必要なこと

総合計画についての問い合わせ
企画振興課 企画・生涯学習担当 ☎ 22-8121

爆音とともに

5/23

ラリー北海道（アジアパシフィックラリー選手権第3戦）が5月23日、活込から上押帯までの10.7kmのスペシャル・ステージ「本別林道コース」で実施されました。本町初の800人収容の観戦ステージも用意され、爆音とともに現れたラリーカーは、道内外から駆けつけた約600人のラリーマニアの前を、土煙を上げて走り抜けました。



いざよい会

5/16

「健康リハビリ～在宅介護予防トレーニング教室～」と題しいざよい会が5月16日、町体育館で開催されました。町国保病院の健康運動指導士が講師となり、自宅でできるストレッチや筋力トレーニングを指導。参加した21人は心地よい汗を流しながら、日々のトレーニングの大切さを学びました。



自治会連合会 総会

5/6

町内76自治会で構成される本別町自治会連合会（佐々木哲夫会長）の総会が5月6日、津村会館で開かれました。自治会長を10年以上勤め自治会活動に貢献した佐々木哲夫さんに表彰状が手渡された後、総会が開会。佐々木会長が「若さあふれるまちづくりを目指し、町民と自治会、行政の三者が力を合わせて苦しい今の時代を乗り切っていきましょう」とあいさつ。総会には委任状を含む52人が出席し、すべての議事について承認し、役員改選では、新会長に北6丁目の三枝金作さんを選出しました。



仙美里小・中学校の 玄関がきれいになりました

4/23

仙美里地区の利別川改修工事を請け負った株式会社（荒木孝三郎社長）が4月23日、仙美里小・中学校校舎の玄関タイルの補修工事や駐車場の整地などを行いました。これは、地域貢献活動の一環として学校の要望を聞きボランティアで実施されたもので、作業員の丁寧な作業により大変きれいになりました。



生ごみ堆肥を無料配布

5/22

町保健衛生組合（目黒金次郎会長）が5月22日、銀河クリーンセンターで作られた生ごみ堆肥を河川運動公園多目的広場で無料配布しました。



時間前から集まった約60人は、持参した袋に堆肥を詰めていました。

訓練の成果を披露

5/23

本別消防団第1分団（角誠分団長）の春季消防演習が5月23日、河川運動公園芝生広場で行われました。午後3時に演習開始のサイレンが鳴り、力強い号令が響き渡る中、参加した団員24人はきびきびとした動作で小隊訓練、ポンプ操作など日ごろの訓練の成果を次々に披露しました。春季消防演習は6月13日午前10時から第2分団（矢野邦夫分団長）が第2分団訓練場で、午後2時から第3分団（細田昇分団長）が仙美里コミュニティ広場でそれぞれ開催されます。



大変きれいになりました

5/22

本別建友会（三木哲会長）の会員約40人が5月22日、ボランティアで本別公園にあるツツジ周りの雑草が生えないための芝はぎと、勇足小学校遊具の塗装を実施しました。これは地域貢献事業として毎年行われているもので、公園を訪れる人や遊具で遊ぶ子供たちの喜ぶ顔を待ち望むかのように、大変きれいになりました。



静山テニスコート 整備に汗

5/16

本別テニス協会（小川末男会長）、本別高校テニス部（千葉祐希顧問、谷川詩穂主将）など24人が5月16日、日ごろ利用しているお礼として静山テニスコートの清掃やひび割れ補修、ライン引きなどのボランティアに汗を流しました。



寄席の世界を満喫しました

4/24

図書館ボランティアぶっくる（綾野治男会長）が、子どもの読書週間に合わせて落語ライブ「ぶっくる亭寄席」を4月24日図書館で開催しました。落語スクリーンを使った「寿限無」や落語絵本による「ガマの油」、「ばけものつかい」などの演目のほか、お客さんとともに「寿限無」を口上するなど、本物ながらに落語の演目を次々に披露。会場では拍手や笑い声が沸き、江戸時代から伝わる落語の雰囲気味わいました。



ごみ拾いに汗

4/24

4月24日に帯広信用金庫本別支店（安田悟明支店長）の職員の皆さん6人が愛のかけはし付近のごみ拾いなどの清掃ボランティアを行いました。これは、地域奉仕活動として毎年行われているもので、雪解けとともに現れたごみ拾いに汗を流しました。



みんなの健康

310

食物による窒息事故は、のどに食物が詰まり呼吸が出来なくなる状態であり、これはのどが呼吸による空気の流れと、口から食道に入る食物の流れの両方で使われているために起こります。

食物による窒息事故

窒息事故



窒息事故は、食

べる機能がまだ十分発達していない乳幼児と食べる機能が低下している高齢者に多く発生しており、乳児のある調査では、約二四％の人がベビー用おやつによる窒息事故に近い経験をしています。その食品を与えた理由として、商品の対象とする乳児の月齢表示が挙げられています。

表示だけでなく、乳児の口の中の状態、舌の

かとう歯科 院長 加藤英俊

動き、かみつぶす力など実際の発達に合った食品を選ぶことが大切です。

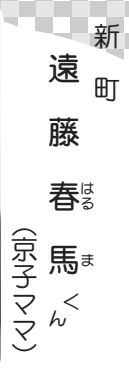
高齢者の窒息事故も非常に多く、咀嚼（そしゃく）力の低下、唾液量の減少、口内感覚や嚥下（えんげ）反射、せき反射の低下などその他多くの要因があります。また、これらと独立した危険因子として、食事を自立して食べている、奥歯にかみ合う歯がない、認知機能が低下しているなどが挙げられています。

このような窒息事故を防ぐには、一口量を多くしない、よくかんで細かく砕き、唾液とよく混ぜる。そして、飲み込むときは、奥歯をしつかりかみ込んで、意識して「ゴックン」と飲み込む、また食べるときにはおしゃべりをせず、食事に集中し、飲み込んでからおしゃべりをするような習慣をつける。また、かむ力と飲み込む力を向上させるための唇、舌、あごの運動や食物が詰まりそうになったときに、強い力で吐き出せるようにせきをする訓練も有効です。

未来に輝く子どもたち



本別町の未来を担うかわいい星たちです。お父さん、お母さんのたくさんの愛に包まれてすくすく元気に育ってね！



※写真は本人に了解を得た上で掲載しています

第7回本別町内一周120kmマラソンに参加してみませんか

本別楽走会では、7月18日（日）に本別町内一周マラソンを行います。個々の力量に応じて、50kmから120kmまで8コースを設定しています。グループでのリレー、自転車など人力であればなんでも構いません。体力の限界に挑戦してみませんか。参加料は無料です。



問い合わせ

本別楽走会 代表 福田俊男（西仙美里）
電話 24-2816
携帯電話 090-8272-9417

☆会員を募集しています

会では、一緒に走る仲間を募集しています。走ることが好きな人であれば、老若男女は問いません。活動内容は、本別町内一周120kmマラソンのほか、各地での大会に自由に参加しています。走る楽しさ、走れる喜びと同時に達成感、充実感、満足感を実感しています。また、マラソン談義の懇親会も楽しみの一つです。一緒に心地よい汗を流しませんか。

ご寄付ありがとうございます 平成22年4月27日から5月21日

- 次の通りご寄付をいただきました。
紙上をかりて厚くお礼申し上げます。（敬称略）
- ★本別町特別養護老人ホーム物品購入費指定
 - 金100,000円……………押 帯 山田幸一
 - 金100,000円……………押 帯 岡本利雄
 - 金100,000円……………北6丁目 北村 郁
 - ★本別町スポーツ振興基金指定
 - 金50,000円…………… 匿 名
 - ★陸上競技場整備費指定
 - 金50,000円…………… 匿 名

- ★本別町国民健康保険病院指定
 - タオル 65本・軍手 4組 …… 上拓農 山田 静 夫
 - タオル 30本 ……………… 北8丁目 有田 竹 男
 - タオル 20本 ……………… 向陽町 上田 峰 子
 - タオル 81本 ……………… 北6丁目 長谷部千代子
 - タオル 160本 ……………… 北4丁目 新津 英 子
 - タオル 446本・バスタオル 33本… 匿名(7人)
- ★本別町公共施設指定
 - タオル 50本（役場分）
 - タオル 13本・ぞうきん 30枚（中央公民館分）
 - タオル 50本・ぞうきん 20枚（本別消防署分）
 - …………… 本別町市街地婦人会 会長 田原 美 枝
- 個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付
- ★福祉でまちづくり推進事業
 - 金50,000円…………… 匿 名

銀河ホップマラソン

足寄町

第14回ラワンびぎ狩り

足寄町の特産品で北海道遺産のラワンびぎを自分の手で刈り取りしてみませんか。

日 時 6月27日(日)
午前8時30分～午後1時

- 場 所 鳥羽農場（鷲府）
- 会場案内
- ①現地へ直接（目印として緑地に白字で「JAあしよる」と書かれたのぼりと看板があります）
- 代 金 ビニール袋を現地で購入し、自分で刈り取りして詰めます
- 持 物 かま、または包丁を持参してください
- 詳細 JAあしよる農産課

②案内場所を経由（道の駅あしよる銀河ホール21前に案内場を設置しています）

大袋（乳白色）3500円
（約25kg入りです）
中袋（透 明）2500円
（約17kg入りです）
※量り売りも行っていきます

陸別町

部分月食観望会

この日は、今年2回目の部分月食があります。大型望遠鏡で神秘的な月食を眺めてはいませんか。ようか。

- と き 6月26日(土)
- ※説明会を午後7時30分から行います
- ところ 銀河の森天文台
- 問い合わせ 銀河の森天文台 ☎2718100



広報ほんべつ 第980号

平成22年6月1日発行
印刷/本別印刷株式会社

本のある暮らし

111

ぼくたち、 図書館デビュー!

0歳から図書館利用者です

お誕生

4月後半から
5月前半の
届出分

木村 颯^{そう しゃく}佑^く 一^い美^み香^か 4/19 弥生町
佐藤 快^{はや と}澄^と 英^{えい}司^し 4/24 美里別東中
遠藤 琉^る威^い 隆^{りゅう}明^{めい} 5/7 南2丁目
数藤 桜^{さくら} 恭^{こう}輔^{すけ} 5/12 勇足元町

ご結婚

(桐山 孝弘^{こうこう} 柏木町
向中野 美香^{みか} 帯広市

おくやみ

渡部 市郎^{いちろう} 85歳 4/20 北1丁目
栗野 千鳥^{ちどり} 94歳 4/24 緑町
工藤 美智子^{みちこ} 76歳 4/26 南1丁目
山田 イチ^{いち} 101歳 5/3 押帯
野村 フジエ^{ふじえ} 93歳 5/8 南2丁目
岡本 この^{この} 99歳 5/11 押帯
佐藤 政治^{せいじ} 81歳 5/14 栄町

ファースト・ブック事業に参加し、手づくり絵本を作ったママたちが、生まれた赤ちゃんと一緒に図書館に来てくれました。

絵本づくりのときは、まだおなかの中にいた赤ちゃんたち。

愛情をたっぷり受けていきいきと育っています。ボランティアさん手づくりの布おもちゃで遊んだり、絵本をめくったり、ママやお友だちと笑顔を交わしながら、たくさんの絵本に囲まれて、楽しいひとときを過ごしました。



ぼくも常連だよ～

心豊かに、大きくなってね!



本とふれあう親子

わたしたちのまち

前月比

人口 **8,498人(+101)**

男 **4,192人(+87)**

女 **4,306人(+14)**

世帯数 **3,938戸(+87)**

〔4月末日住民基本台帳〕

お問い合わせ先

本別町図書館

(愛称:ぶつくる一丸)

本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112

発行 本別町

編集 企画振興課
広報電算担当

住所 北海道中川郡本別町
北2丁目4番地1

電話 0156-22-8121
FAX (直通)
0156-22-3237

ホームページ
<http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/>



資源を大切に——
広報ほんべつは、道産間伐材を使用しています。